

寄付・寄贈

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。
(平成30年4月1日～30年12月31日)

鈴木 敏雄 様 宮崎 澄男 様 (株)アイコン 様 (株)大森工務店 様 木村事務所 様 土橋建築設計事務所 様
(社福)ワークセンターいまがわ 様 こんふおーと家族会 様 前田 孝司 様 他匿名希望者 15 名 (順不同)

寄付金 (平成30年度) 累計額 2,062,064 円

創立記念行事

11月10日にだんであ
いおん13周年記念式典
及び家族対抗ボウリング
大会を行いました。ボウリング大会では家族様より「懐
かしい!」「楽しかった!」というお言葉をいただきました。
利用者様にとっても普段とは違う雰囲気の中、家族様

と一緒に過ごせたことは良
い思い出になったと思いま
す。その後の創立記念式典
ではボウリング大会の表彰
を行い、利用者様からご家
族様にメダルをかけてあげ
る場面もみられ、家族の絆を感じさせていただきました。
また、式典の中では職員の 10年勤続表彰もあり、利用者
様や家族様だけでなく、地域の方などたくさんの方に支え
られてきたことを実感しました。参加していただいた利用
者様、家族様、ありがとうございました。

生活介護リーダー 山下 逸

ふ ほう 訃 報

こんふおーとご利用の藤原 輝美 様は長らく病気療養中でしたが、平成30年11月4日にご逝去されま
した (享年50歳)。生前は楽しい思い出ばかりでした。謹んで心よりご冥福をお祈りいたします。

地域学会

第8回 総合福祉セミナー
『絆』 支えあう地域社会へ 未来へ今私たちがすべきこと

日時：平成31年3月2日(土) 10:00～16:00
会場：大阪城南女子短期大学 大阪総合保育大学 第2学舎 (坂上記念ホール)
認知症サポーター養成講座 (10:05～11:35) 定員80名
締切2月25日ですが、機関紙をご覧の方は 3月1日まで申込可。
基調講演：法と社会の関わり
～法律のありがたさ・法律との付き合い方～ (13:05～13:30)
◆シンポジウム (13:40～14:10)
パネルディスカッション
Ⅰ. 地域教育～介護福祉士養成校の実践例 (14:15～14:45)
Ⅱ. 重度障がい者の権利擁護 ～心理的虐待を考える～ (14:50～15:20)
Ⅲ. 地域とのつながり (15:25～15:55)
【セミナー事務局】 特定非営利活動法人だんでらいおん (担当：久保・栗根)

『認知症サポーターとは』
なにか特別なことをする人ではなく、認知症を正
しく理解し認知症の人や家族を暖かく見守る応援
者として自分でできる範囲で活動する人のことです。
全国各地で実施されている【認知症サポーター養
成講座】を修了した方に、認知症サポーターの証
であるオレンジリングというプレスレットを無料配布
しています。認知症を支援する「目印」としてプレ
スレットをつけてもらい、このオレンジリングが連
携の「印」になるようなまちを目指します。
参加をご希望の方は当法人ホームページよりお
申し込みください。
ホームページURL (http://www.dandelions.jp/)

編集 後記

寒い日が続く中、皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか？年度末が近づき、
平成も残り少なくなってきた今、心忙しい日々をお過ごしかと思います。今回はホーム旅
行、こんふおーと旅行、創立記念行事とイベントが盛りだくさんの内容となっております。
また、3月2日に総合福祉セミナーを開催いたします。お忙しいとは存じますが是非お誘
い合わせの上で参加くださいます様お願い申し上げます。
広報一同

DANDELION

特定非営利活動法人 だんでらいおん

たんぽぽ通信

平成31年冬号

発行元：特定非営利活動法人 だんでらいおん
発行責任者：久保 哲哉
〒546-0023
おおさか し ひがし区あさぎ 5-9-8
TEL：06-7668-1101
発行日：平成31年●月●日

障がいを持つ方々が地域の中で自立していける社会を目指して

だんでらいおんの理事として願う事

社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団 軽費老人ホーム 河南荘 荘長／当法人 理事 飯島 伸一

だんでらいおん理事の飯島伸一です。私は 1979年 (昭
和54年) 桃山学院大学に入学し、確かその 1 年後位から
始めたボランティア活動でだんでらいおんの前身である
「たんぽぽサークル」の皆様と知り合う事が出来ました。
ボランティア活動の内容は、長居公園の大阪市スポーツ
センターのプールや、夏休みに開催されていたサマース
クールでのお手伝いでしたが、毎回充実した活動だった
ことを思い出します。当時は、国連で決議された 1981年
の国際障害者年に向けての活動も含めて色々な団体がボ
ランティア活動を行っていました。
その頃の私は「やる気！世直し！手弁当!」という心
構えで、学生として活動を通じ社会福祉を勉強するんだ！
という気持ちで燃えていましたが、実際は、毎回の活動
が楽しくて仕方が無かった 3 年間でした。卒業後もお陰
様で障がいの者の授産施設で働くことができ、その後同じ
社会福祉法人の中で高齢者施設を中心に 30年あまり勤務
していた平成28年の春にご縁があって、だんでらいおん

の理事としてお仕事させてい
ただく事になりました。障が
い者福祉については、就職後から 2008年までの 25年間
の経験しかないのですが、その後の社会情勢や制度改革を現
場では体験していませんが、障がい者を取り巻く社会は
2006年に国連総会で「障害の有無にかかわらず、相互に
個性の差異と多様性を尊重し、人格を認め合う共生社会
を実現する」という障害者権利条約が批准され、現在は
わが国もそれを受けて政策が進められている状況だと思
います。しかし現実的には、個人主義や不寛容社会の風
潮の中でなかなか明るい方向性が見えないな～と考えた
りもします。共生社会のポイントはやはり地域だと思い
ます。今後は、だんでらいおんが地域の皆様の御理解の
中で積み上げられた事業の実践が、少しずつ地域に根付
き、綺麗な花を咲かせられるよう、微力ですがお役にた
てればと願っています。

別館改修工事 別館増改築改装工事完了のご報告

工事が長引き、利用者様にもその間、ご不便をおか
けていました別館の増改築改装工事が 8 月中旬に引き
渡しとなり、生活介護のいきいき班、のびのび班の活
動拠点として 9 月 1 日よりようやく再稼働いたしまし
た。増床 (1・2 階併せて 27㎡増) のために建築基準
が引き上げられ、それをクリアするのに手間取りまし
たが、かねてから最大の懸案でした「狭さ」から僅か
ながらも開放され、利用者様の行動や落ち着きからも
ゆとりと余裕を感じていただいている様子です。広さ
以外にも各所により安全で快適な設備も施し、屋内で
の生活、作業もさらに充実させていただけるものと考
えています。
総務部長 山本 健太



＊ホーム旅行

平成30年6月30日(土)～7月1日(日)に和歌山県加太市「ひいな湯」に行きまして。今回の旅行は、観光を楽しみながら現地にやってくる利用者様と、マイクロバスでのんびりと現地に行く利用者様に別れての現地集合でした。

昨年引き続いての現地集合だった為、特に利用者様も混乱する事なく、スムーズに合流する事が出来ました。

宿に着いた後はお部屋で少し休憩してから温泉に行きました。露天風呂もあり、利用者様もいつもと違う雰囲気での入浴を楽しみ、とても気持ちよさそうにしておられました。

入浴後は、部屋で寛いでから、宴会場に向かいました。夕食は、一品食べてから次の料理が出てくるスタイルだったので、温かい物を食べる事ができ、利用者様も満足されていました。食事の後は、毎年恒例のカラオケ大会です。思い思いの曲を歌う利用者様も居れば、椅子に座ってその場の雰囲気を楽しむ利用者様もあり、個々に楽しんでいる様子でした。

6月30日(土)～7月1日(日)

た。職員もダンスをしながら歌を唄い、大変盛り上がっていました。

2日目は、宿の近くで有名な「淡嶋神社」で参拝を行ってから、今回の旅行のメインともいえる「みさき公園」へ移動しています。イルカショーは時間の兼ね合いで観る事は出来ませんでしたが、個人のペースに合わせて遊園地や動物園を巡り、利用者様それぞれ楽しませていました。

2日間とも晴天に恵まれ、初夏を感じさせる程の暑さもありましたが、体調を崩されることなく、無事に今年のホーム旅行を終える事が出来ました。

主担 森 くるみ



★こんふおーと旅行

9月14日(金)～9月15日(土)

平成30年9月14日(金)～9月15日(土)にかけて、こんふおーと一泊旅行に行きました。1日目は【なばなの里】、宿泊は西浦温泉の【ホテルたつき】、2日目は【名古屋港水族館】という行程で行いました。本年度より【利用者の会】発足のもと、新たな試みとして2名の利用者様に下見の同行をお願いしています。下見当日は、利用者様も少し遠出の活動気分で笑顔も多く見られて、職員も楽しい旅行になると実感することが出来ました。

旅行当日は生憎の天気予報の中、祈りながらバスを出発させて、名阪国道の関インターにて【豚せいろ蒸し】の昼食を美味しくいただきました。お腹がいっぱいになり、なばなの里に向かうバスの車内では、眠っている利用者様もいらっしゃいました。なばなの里に入ると、すぐに集合写真を撮りましたが、人数が多くて一度で撮りきれず、バスの号車毎の2班に分かれて撮影したことは少し残念な思いがありました。きれいなお花の中を散策し、利用者様はもちろん、私たち職員も心が癒されるひと時でした。アイ

スクリームやジュースなど、おこづかいを使って楽しまれて、たくさんの笑顔を見ることが出来ました。

宿泊先に到着し、まずは温泉で日ごろの疲れを取り、宴会が始まりました。豪華な懐石料理に笑顔いっぱいの利用者様や、カラオケ大会で舞台上に上り、好きな歌を力いっぱい歌われる利用者様を見ると、職員も日ごろの疲れが吹っ飛ばすような気分になりました。

2日目の【名古屋港水族館】では、イルカショーを楽しまれたり、水族館を回られたりと自由な時間を過ごされていました。利用者様の表情も普段とは違った笑顔がたくさん見られました。その後は徒歩で名古屋港に隣接する【東山ガーデンポートハウス】にて、きしめん付きの季節のお弁当を食べて、無事にだん

でらいおんに帰ってきました。出発前は旅行担当者4名全員、不安と心配が心の中を駆け巡りましたが、全職員の協力のもと、とても良い旅行になったと思います。改めて、『だんではらいおん』のチームワークの良さを実感することが出来ました。生活介護 リーダー 山崎 勝彦

